

平成29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	情報政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	超高速情報通信網整備事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	すべての市民が情報化の恩恵を享受、実感できるよう、合併地区におけるケーブルテレビ網と超高速情報通信網を整備するため、第三セクターの民間事業者が光ファイバーでケーブルテレビ網を整備し、その回線を超高速情報通信網として活用する整備手法を基本として、事業主体となる民間事業者と協議する中で、超高速情報通信網の整備を推進する。		
29年度概要	平成23年度に整備を行った庵治町東部・西植田町・東植田町・池田町の一部・菅沢町の超高速通信網の管理運営。 男木島、女木島におけるWi-Fiスポットの整備		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理

【事業の目的】

対象(何を)	超高速情報通信網が未整備のため、超高速インターネットサービスが未提供となっている地域の市民
意図(どのような状態にしたいか)	未提供地域における超高速情報通信網整備による超高速インターネットサービスの提供

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標H30
島しょ部整備率	%			0	80.3	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標H30
成果指標	市域における整備率	%	目標値			99.8	99.9	100
			実績値			99.8		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 未整備地域が、島しょ部のみとなり、光ケーブル等の整備に関して調整・検討を図った。また、整備地域においての加入者が増加したため、IRU(「破棄し得ない使用権」)貸付料が維持費を上回った。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(予算)
トータルコスト	[円]	304,701	430,594	15,969	16,458
(事業費)	[円]	295,475	420,998	14,006	14,495
(職員人件費)	[円]	9,226	9,596	1,963	1,963

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

超高速情報通信網世帯力カバー率が99.8%となり、未整備地域となる島しょ部の整備手法について調査・検討を行う。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

島しょ部については、民間業者のサービスエリア拡大や、技術革新の状況を見ながら、整備手法について調査検討を行う。